

自分から あいさつ・けじめ・思いやり（令和2年度合言葉）



上河内東小学校だより 11月号



令和2年11月10日

文責 校長 田沼広志

新しい生活様式：『3密避けて うがい・手洗い・マスクに換気』



運動会



10月26日（月）に運動会が行われました。過日プリントでお知らせしましたとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童・保護者・教職員のみによる開催とし、接触機会の軽減、うがい手洗いの励行、マスクの着用、徒競走はセパレートレーンで実施など、制約はたくさんありましたが、子供たちはもてる力を十分に発揮し頑張りました。**欠席者0、けが人0**は特に素晴らしい点でした。来年は通常開催できることを祈りつつ、紙面にて児童の活躍をご覧ください。

令和2年度スローガン：『立ち上がれ あきらめないで 燃えようぜ』（代表委員会作成）



堂々とした選手宣誓



工夫した応援



白組の優勝

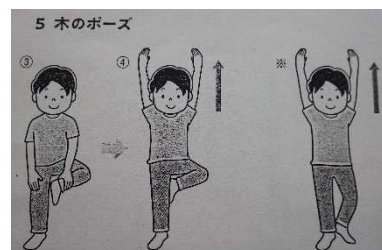
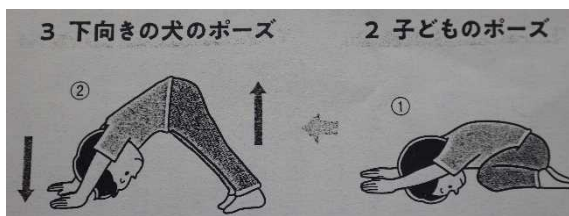
すまいる学級での実践 筑波大学教授松原豊「発達につまずきのある子供のヨガ」から



すまいる学級では、朝の時間や、授業の合間を活用して新しい取組を行っています。それは、“ヨガ”です。最近巷でも流行していますが、教育の中にも取り入れられてきています。著者によると、欧米では教育現場でのヨガの導入が急速に進んでおり、その効果は次のとおりです。

- ①自分のペースでできる：協調運動が苦手な子は、器械運動（鉄棒や跳び箱等）では課題が達成できないために、チームスポーツでは仲間から非難されるために、活動を避けてしまう傾向がある。
- ②体感を鍛える：体幹の弱さは姿勢の悪さや落ち着きのなさにつながる。
- ③他者との共有ができる：まねる動作をすることで視覚的支援ができる。
- ④集中力が高くなる：ポーズの維持や止まる動作が集中力を高める。
- ⑤心理的安定につながる：ヨガの呼吸法が感情のコントロールを生む。

「運動器検診」と似ています。健康な身体が健全な頭と心を育むのですね。



ポーズの一例です
参考になさってください

東っ子タイム（創立記念集会）
9月16日（水）

10月号に掲載できなかった
9月の行事をお知らせします

演劇鑑賞教室 9月25日（金）
『ちえんじ』～図書室のすきまから～

密集を避け、班ごとに教室に分かれて、放送
で出題した学校に関するクイズに答えました



※本校の創立記念日は9月24日
です。（明治37年から）

ちょっと密でご
めんなさい

『裸の王様』をモチーフにした
創作劇。タイトル通り、自分を
見つめ直す主人公の心の葛藤が
テーマであり、考えさせられた
児童もいたかもしれません。

急に図書室通いが増えたお子
さんは、これから『ちえんじ』
するのもかも・・・ご家庭でも
変化をお楽しみに。



稲刈り 10月16日（金）



久保井弘道様、久保井孝昭様、小林計公様をはじめ、環境整備委員の皆様等多くの方々にお世話に
なり無事稲刈りが終了しました。ありがとうございました。



図書室利用状況調査から 1学期の集計から

1学期の図書室利用状況をお知らせします。



（1）【貸出冊数】3,582冊

（2）【人気ベスト3】第1位：おしりたんていシリーズ 第2位：未確認棒物 UMA の謎
第3位：爆笑！！小学生あるある

（3）【分類別ベスト3】第1位：絵本 第2位：文学（物語） 第3位：自然科学

☆今後も各教科の学習と関連させながら、意図的に図書室利用を促し、活字に触れさせたいと思います。
☆親も同じ時間に読書をすることで本好きな子になるとも言われています。一緒にお楽しみください。

この時代を生きる（養老孟司 PHP9月号より）

焦らず慌てずどっしり構えて生きるヒントが書かれていましたのでご紹介します。

「人生いつ何が起こるか分からない。今回のコロナウイルスも然り。不安はあって当たり前。不安が
なければ人間は危険を察知できない。不安になるからこそ生きていける。『危機管理』と言うけれど管理でき
ないから危機なのだ。」ではどうすればよいのか。

①『しょうがねえ』と上手に開き直り、まず受け入れる。（昔の人は『覚悟』と言った。）

②気を紛らわす術をもつ。（趣味や過ごし方など）

③自分の普通を知る。（現代人は統計や平均など他人の指標に頼りがち。時に他人から離れてみる。）

※情報に流されずに生きることも、現代の情報化社会においては必要なのかもしれませんね。



予算削減のため白黒印刷にしております。ご容赦ください。カラー版はホームページでご覧ください。